

●第25回奄美空手道選手権大会 型試合規則

型部門

	小学 1年生	小学 2年生	小学 3年生	小学 4年生	小学 5年生	小学 6年生	中学生	高校生	一般
1・2回戦	太極1	太極3	平安1	平安2	平安3	平安4	平安5	平安5	突きの型
3・4回戦 (準決勝)	太極1	太極3	平安1	平安2	平安3	平安4	突きの型	突きの型	撃塞大
決勝	太極3	平安1	安三	安三	平安4	平安5	最破	最破	最破

○判定方法：**新極真会教則型全集(DVD)を基準とし判定します。**

- ・主審を含めた5名の審判員でトーナメント方式にて行う。
- ・5名の審判員のうち3名以上の判断(旗)を有効とする。但し、引き分け判定はなしとする。
- ・人数によって統合の可能性があります。
- ・出場人数により、1・2回戦の指定型を1回戦にのみ行い、3・4回戦の指定型を2回戦に行う場合があります。また、1・2回戦の指定型を行わず、3・4回戦の指定型を1回戦に行う場合があります。

○試合方法：1回戦～決勝戦まで

- ・主審は両選手の中央に立ち、「正面に礼」「主審に礼」「お互いに礼」と指示。
- ・礼を終えたら、主審の号令により両選手同時に型を行う。
- ・両選手の型が終了したら、主審は両名を試合場中央にて正面を向かせて「判定を取ります」「判定」と審判の判断を求める。
- ・主審は勝者を決定し、「正面に礼」「主審に礼」「お互いに礼」と指示して選手を退場させる。

○審判基準**※新極真会教則型全集(DVD)を基準とし判定します。**

・判定項目

(a)正確性・・・立ち方、姿勢、目線、突き、受け、蹴り、攻撃部位の正確さ

(b)安定感・・・重心移動、回転運動、運足、跳躍、伏臥のバランス

(c)躍動感・・・身体の収縮、伸びやかな動きと躍動力

(d)力の強弱・・・無駄な力を入れず切れ味鋭い技、極め技は爆発的な力強さ

(e)技の緩急・・・スピード感、リズム感が単調にならず技に緩急をつける

(f)呼吸の調整・・・激しい動き、ゆっくりした動き、それぞれの動作と呼吸を調和させ乱れない呼吸と烈迫の気合い

(g)残心・・・技が極まった後、型を納める際の敵の反撃に備える心の構え

・減点

(a)挙動等の間違い

(b)一時的な停止

・判定基準

(a)減点1の場合、判定項目の優劣によって逆転の判定もあり得る。

(b)減点2の場合、相手に減点1が無い場合は判定負けとなる。

(c)両者とも減点が無い場合、判定項目の優劣で判定する。

・失格

(a)型の忘却、間違いにより継続できない場合失格となる。